



めざす子ども像 「かしこく」 様々なことに興味・関心を持ち、自ら学び、考え、正しく判断し行動できる子
「心豊かに」 自分を大切にするとともに、友だちなど自分以外の人も大切に思い、つながりあって行動する子
「たくましく」 健康や体力の向上維持に努め、めあてに向かって粘り強くやりぬく子

めざす学校像 子どもが喜んで通う学校、子どもがつながりあって活動する学校、子どもに確かな学力が身につく学校

ホームページ <http://www.ise-mie.ed.jp/~akeno-e/>

編集・発行 校長 中村幸博

体力テスト、全校で実施中！

5月初旬から全校で「体力テスト」を実施しています。「体力テスト」は正式には、全国運動能力、運動習慣調査」と言い、毎年、市内どこかの小中学校が県より抽出され、全校で実施しています。

明野小も昨年度その抽出校となり、全校で「体力テスト」を行いました。昨年度に引き続き、今年度も体力・運動能力の向上をめざし、全児童で記録を保存することにしました。

「体力テスト」は、全部で8種目。握力、長座体前屈、上体起こし、反復横跳び、20mシャトルラン、50m走、立ち幅跳び、ソフトボール投げです。全国では、小学5年生と中学2年生の記録がスポーツ庁に集められ、9月ごろに全国平均や三重県平均が出されます。明野小では、昨年度のデータから、現6年生（昨年度5年生）は、8種目で上回る記録もありますが、全体的には全国平均よりやや下の記録でした。



砂場で立ち幅跳び(1CD 上)



長座体前屈をする4C男子(上)

試技を待つ4Cの子どもたち(左)

今年度は全国平均を元に『目標値』を決め、それを目指して各学年一人一人が「体力テスト」に取り組んでいます。先日も、5Aで、反復横跳びに男子43回、女子40回と目標値を決め、それを約8名がクリアしていました。

このような地道な取組がとても大切だと感じます。また、1・2年生に競技の仕方を教えたり、記録をとったりするのを、5・6年生がしてくれています。3～6年生は互いの記録を取り合ったりもしています。こういったところにも子どもたちの協働の姿、相手を考える姿が見られ、ほほえましく思います。

体育館で行われる20mシャトルランのようす、スタート(下 5A)
ランの途中(右下 4B) 友だちの記録を取る5A(右)



なかよし学級、学習に集中!



昨年度に引き続き、なかよし学級は3クラスあります。11名の在籍ですが、特性や該当学年での学習理解度に合わせて、一人一人に学習カリキュラムが編成されています。マンツーマンでの学習というよりは、2～3名での学習で、自分の1時間で学ぶべきことをしている体制がふつうです(写真上)。

国語や算数に関して、同じ学年の内容を学んでいる子どももいます。中高学年では社会や理科を原学級で学ぶ子どもも出てきています。今年度は、その子その子の成長を見ながら、できるかぎり、原学級での学習を実施していこう、自然な雰囲気での子どもたちのつながりを育んでいこう、という方針で、なかよし学級と原学級との交流を行っています。

支援員の先生に見守られながら、学習に集中の子どもたち(右)



<6月の主な行事予定>の変更

◆学校だより「あけの」No.14で、6月の主な行事予定をお知らせしましたが、下校時刻での変更がいくつかありますので、学年別にお知らせします。ご確認下さい。

○1年生は変更なし。

○2年生は、7日(火)6限なし 14:45 下校
14日(火)6限なし 14:45 下校
21日(火)6限なし 14:45 下校

○3年生は、16日(木)6限なし 14:45 下校
21日(火)6限なし 14:45 下校
23日(木)6限なし 14:45 下校
16日(木)に学習日予定

○4・5年生は、3日(金)6限なし 14:45 下校
21日(火)6限なし 14:45 下校
23日(木)6限なし 14:45 下校
23日(木)に学習日予定

○6年生は、10日(金)6限なし 14:45 下校
24日(金)6限なし 14:45 下校

21日(火)23日(木)はプール掃除と予備日の関係での授業カットです。それ以外は、土曜授業の関係です。

明野小学校HP『予定』もご覧ください。

避難訓練を受けて・・・

先月、小俣防災ボランティア4名の方にも手伝っていただき全児童と職員が無事大仏山スポーツセンターへと速足で歩き上がりました。

もともと起こってほしくない自然災害、大地震や大津波ですが、これからの40年の間に起こる可能性が高いと言われています。

4月にお一人の保護者から、子どもたちの頭を守るために、ヘルメット等の購入を考えていないのですか?という質問を受けました。

答えからすると、「今のところ考えていません」です。その理由とて、

○授業の時に地震が起こったとき、子どもたちの体を守る机があること、また、子どもたちが「だんご虫」を作る姿勢がとてうまく、どこでも頭を守る姿勢ができています

○大きな地震が起こることを考えて、子どもたちがどこにいてもヘルメットを保持していなければならないことが校内での行動上、効率が悪くないと考えられること

の大きな2つの理由から今後の検討課題の一つとさせていただきます。ご了解ください。